一般社団法人 日本エネルギー学会
第 97 回定時総会

日　時　　2022 年 2 月 25 日（金）午後 1 時 30 分より

会　場　　学士会館（202 号室）

東京都千代田区神田錦町 3-28

TEL. 03-3292-5936（代）

議　　案

第１号議案　2021 年１月１日から 2021 年 12 月 31 日までの
事業ならびに会員状況報告の件

第２号議案　2021 年１月１日から 2021 年 12 月 31 日までの
貸借対照表，正味財産増減計算書，財産目録の承認の件

第３号議案　2022 年度理事選任の承認の件

第４号議案　2022 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

一般社団法人
日本エネルギー学会
JIE The Japan Institute of Energy

第 97 回定時総会ならびに関連行事

次　第

13:30～14:50　第 97 回定時総会　（202 号室）

１．開会
２．会長挨拶
３．議案審議
４．閉会

15:00～15:30　2021 年度日本エネルギー学会表彰式　（オンライン開催）

１．開会
２．選考経過報告
３．表彰
４．会長挨拶
５．閉会

15:40～17:00　受賞者講話　（オンライン開催）

1. 微粉炭燃焼発電プロセスにおける環境負荷物質の発生メカニズムおよび低減・除去に関する研究

岐阜大学　神原　信志

2. 「クローズド」ＩＧＣＣによる高効率ゼロエミッション火力技術の開発

一般財団法人電力中央研究所
三菱重工業株式会社

3. 本会の発展に対する功績

元産業技術総合研究所　元当会理事　斎藤　郁夫

4. 本会の発展に対する功績

株式会社住環境計画研究所　代表取締役会長　元当会理事　中上　英俊

第１号議案　2021 年１月１日から 2021 年 12 月 31 日までの事業ならびに会員状況報告の件

１．本会事業報告

１－１　委員会、会合等

○定時総会

第 96 回定時総会を 2021 年２月 26 日（金）13:30 から学士会館にて開催し、次の議案について審議の上、原案どおり承認された。

第１号議案 2020 年１月１日から 2020 年 12 月 31 日までの事業ならびに会員状況報告の件
第２号議案 2020 年１月１日から 2020 年 12 月 31 日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認の件
第３号議案 2021・2022 年度理事・監事選任の承認の件
第４号議案 2021・2022 年度補欠理事選任の承認の件
第５号議案 2021 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

なお、2021 年度定時総会については、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、例年開催している表彰式/特別講演/祝賀懇親会は中止とした。受賞者講演についてはハイブリッド開催とし、受賞者にはオンラインにてご講演頂いた。

○理事会　定例５回（1/27、3/29、6/29、9/29、11/19）、臨時１回（2/26）

（1）2020 年度第５回定例理事会　2021 年１月 27 日（水）10:00～12:00
Web 開催、出席者　19 名（理事　21 名）
〔審議事項〕
会長および専務理事から業務報告（12 月下旬まで）
1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 補欠理事 承認の件
4. 第 96 回定時総会議案 承認の件
①第１号議案　2020 年１月１日から 2020 年 12 月 31 日までの事業ならびに会員状況報告の件
②第２号議案　2020 年１月１日から 2020 年 12 月 31 日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認の件
③第３号議案　2021･2022 年度理事選任の承認の件
④第４号議案　2021･2022 年度補欠理事選任の承認の件
⑤第５号議案　2021 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件
5. 規程の改訂 承認の件
〔連絡事項〕
6. 第 96 回定時総会および関連行事について
7. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
8. その他（今後の理事会スケジュール等）

（2）　2021 年度第１回臨時理事会　　2021 年２月 26 日（金）14:30～14:40
ハイブリッド開催（於:学士会館、Web)、出席者　17 名（理事　21 名）
〔審議事項〕
1. 2021･2022 年度　役員選任の件
2. 2021･2022 年度　委員会委員長 選任の件

（3）　2021 年度第２回定例理事会　　2021 年３月 29 日（金）15:00～16:30
Web 開催、出席者　15 名（理事　21 名）
〔審議事項〕
会長および専務理事から業務報告（２月下旬まで）
1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告（２月末）の件
4. 2021 年度表彰委員長及び委員 選任の件

5. 2021・2022 年度 100 周年記念事業委員長および委員選任の件
6. 2021・2022 年度専門部会部会長　選任の件
7. 規程の改訂 承認の件
〔連絡事項〕
8. 第 96 回定時総会の報告
9. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
10. その他（今後の理事会スケジュール等）

(4) 2021 年度第 3 回定例理事会　2021 年 6 月 29 日（火）15:00～16:10
Web 開催、出席者　19 名（理事　21 名）
〔審議事項〕
会長および専務理事から業務報告（5 月下旬まで）
1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告（5 月末）の件
4. 2021 年度「論文賞」受賞者承認の件
5. 規程の改訂 承認の件（部会規程、会員規程）
〔連絡事項〕
6. 100 周年記念事業の進捗状況について
7. 表彰委員会のスケジュールについて
8. 会員増強委員会からの報告
9. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
10. その他（今後の理事会スケジュール等）

(5) 2021 年度第 4 回定例理事会　2021 年 9 月 29 日（水）13:30～15:00
Web 開催、出席者　17 名（理事　21 名）
〔審議事項〕
会長および専務理事から業務報告（8 月下旬まで）
1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告（8 月末）の件
4. 委員交替の件
5. 規程類の制定 承認の件
6. 規程の改訂 承認の件
〔連絡事項〕
7. 100 周年記念事業の準備進捗状況について
8. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
9. その他（理事会スケジュール、理事交代挨拶）

(7) 2021 年度第 5 回定例理事会　2021 年 11 月 19 日（水）13:00～15:00
Web 開催、出席者　15 名（理事　19 名）
〔審議事項〕
会長および専務理事から業務報告（10 月下旬まで）
1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告（10 月末）、年度末収支見通し報告の件
4. 「2021 年度学会表彰」学会賞、進歩賞、功績賞、奨励賞 承認の件
5. 2022･2023 年度 支部長選任 承認の件（東北支部・関西支部）
6. 規程類の制定・改訂 承認の件
7. 第 97 回定時総会招集 承認の件
〔連絡事項〕
8. 100 周年記念事業計画
9. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
10. その他（今後の理事会スケジュール等）

○監事会（監査）　　1回

・2021年1月18日（月）15:00～17:00、学会事務局会議室において行われた。
2020年1月1日から2020年12月31日までの会計および業務監査
1. 2020年12月末における貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録の監査
2. 事業ならびに会員状況についての監査
3. 銀行預金通帳の照合

○名誉会員・参与懇談会

・例年、定時総会の日に開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

○企画委員会（100周年記念事業実行委員会）　2回（5/10、9/21）

(1) 第1回　5月10日（月）13:30～15:30　Web開催
［議事内容］
1. 100周年記念事業 統一テーマについて
2. 100周年記念事業 各部会・支部計画案について
3. 各部会・支部計画（案）とスケジュールについて
4. 100周年記念事業 全体企画案（企画委員会所掌）について
5. その他（今後の予定など）

(2) 第2回　9月21日（月）11:00～12:00　Web開催
［議事内容］
1. 100周年記念事業 各部会・支部計画案について
2. 100周年記念事業準備進捗状況について
3. その他（今後の予定など）

○総務委員会　4回　(3/17、6/15、9/10、11/9)

(1) 第1回総務委員会（3/17）書面審議
1. パートタイム職員就業規程の制定について

(2) 第2回総務委員会（6/15）書面審議
1. 部会規程の改訂について
2. 会員規程の改訂について
3. 支部別会員リスト情報提供実施要領の改訂について

(3) 第3回総務委員会（9/10）書面審議
1. 法定備置書類閲覧・謄写等規程および同要領の制定について
2. 旅費規程の改訂について
3. 総務委員会運営要領の制定について

(4) 第4回総務委員会（11/9）書面審議
1. 調査役処遇要領の制定について
2. 職員給与規程の改訂について

○表彰委員会　3回（5/27、7/29、11/12）Web開催

(1)本年度論文賞受賞候補者の承認（2件）(5/27)
(2)本年度選考委員の承認（7/29）
(3)本年度学会賞、進歩賞、功績賞、奨励賞受賞候補者の決定（11/12）
学会賞（学術部門）1件、学会賞（技術部門）1件、
進歩賞（学術部門）1件、進歩賞（技術部門）1件、
功績賞　2件、奨励賞　8件

・その他表彰選考委員会　11回
論文賞－編集委員会（2020/12/15、2021/2/15、4/15）
奨励賞－液体微粒化部門（2020年11月上旬、2021/12/18）
奨励賞－バイオマス部門（2020/11月上旬、2021/1/21）
奨励賞－大会部門（2021/5/19、9/13）
奨励賞－石炭科学会議部門（2021/8/19、10/27）

○部会長･支部長連絡会　2021年11月19日（木）15：00～17：00
Web開催

・情報提供（学会の状況について）
・100 周年記念事業について（100 周年記念事業計画）
・各部会･支部活動について（近況、今後の予定など）

○編集委員会

2 誌体制移行に伴い､2017 年 6 月以降､各紙を担当する 2 編集小委員会の体制に移行した。

・日エネ学会誌編集小委員会　2 回（Web 開催　2/15、4/15）
- 投稿論文について、Web 上（J-STAGE）で最新号まで公開継続。
- 論文賞表彰について審議

・日エネ学会機関誌えねるみくす編集小委員会 6 回(Web 開催 1/27､3/18､6/3､7/26、9/17、11/29)
- 特集記事および講座について、2021～2022 年度の編集計画を策定
- 100 周年記念事業関連について
- 会誌 9 月号（Annual Energy Reviews 号）の発行

○出版委員会　2 回（Web 開催 4/14、6/9）　※リサイクル部会編集委員会と合同開催

・「廃プラスチックの科学と技術（仮)」目次案、執筆者検討（4/14）
・目次構成検討、執筆依頼状況確認、査読者検討、本題名検討（6/9）

○大会実行委員会

・大会実行委員会 4 回（Web 開催 1/29、3/19、5/19、9/13）
(1)日程、会場等、現状の確認および現地開催とオンライン開催の判断基準（1/29）
(2)オンライン開催切り替え是非検討（3/19）
(3)オンライン開催要領確認、大会プログラム構成確認（5/19）
(4)大会実施報告、奨励賞候補者選考、ポスター発表賞選考（9/13）

・オンライン開催 WG 3 回（Web 開催 2/15、4/22、6/15）
(1)オンライン開催時の運営体制検討（2/15）
(2)オンライン開催要領策定（4/22）
(3)発表者/座長/聴講者向け参加要領、リハーサル計画（6/15）

・第 30 回日本エネルギー学会大会（2021 年 8 月 4 日、5 日 オンライン開催）（参加者:207 名）

【研究発表】111 件（口頭発表 87 件、ポスター発表 24 件）
【2021 年度｢論文賞｣表彰式および受賞者講演】
【特別講演】
1.「カーボンニュートラル時代における水素政策の今後の方向性」
藤岡 亮介（資源エネルギー庁）
2.「気候変動対策への金融分野の役割 －構造的な変化と今後の展望－」
工藤 拓毅（日本エネルギー経済研究所）

【基調講演】
1.「エネルギープロセス用気固反応装置」　清水 忠明（新潟大学）
2.「新しい C1 化学反応の創成」　椿　範立（富山大学）
3.「バイオマスと低炭素化」　山本 博巳（電力中央研究所）
4.「脱炭素社会の実現に向けたプラスチック資源循環のあり方：ケミカルリサイクルとエネルギー回収の役割」　中谷　隼（東京大学）
5.「人々に行動を変えてもらうためには？　まちづくり・交通問題への社会心理学の応用事例」
谷口 綾子（筑波大学）
6.「バイオマス発電システムの高度化：燃焼の高付加価値化とエネルギー貯蔵との統合」
伏見 千尋（東京農工大学）

【若手研究者勉強会講演会】
「産業連関表を用いた鉄鋼マテリアルフロー分析とエネルギーフローへの含意」
中村 愼一郎（早稲田大学）

○100 周年記念事業委員会　3 回（5/27、7/27、11/12）

(1)100 周年記念事業統一テーマ設定､100 周年記念事業計画案と実施スケジュール確認(5/27)
(2)100 周年記念事業準備進捗確認と小委員会設置（7/27）
(3)100 周年記念事業計画確認（11/12）

○100 周年記念事業実行委員会　2 回（企画委員会内で開催）

○第 18 回維持会員懇談会

新型コロナウィルスの感染拡大により開催中止

○学生のための国際会議発表支援　0 件

・新型コロナウィルスの世界的な流行により予定された国際会議（International Petroleum Technology Conference　(IPTC)）は現地開催中止

○IEA/JECC（燃焼改善と排出物低減研究日本委員会）（受託調査）

1. JECC-第 19 期第 4 回定例会議・Web 開催（8/2）
   - ・第 19 期 2 年目収支決算、第 20 期 1 年目予算案
   - ・IEA／TCP 会議報告および最近の状況報告
   - ・勉強会「CO2 回収型次世代 IGCC 技術の開発」（講師：電力中央研究所 梶谷史朗氏）
2. JECC-第 20 期第 1 回定例会議・Web 開催（12/21）
   - ・収支報告；第 20 期 1 年目収支実績見通し
   - ・IEA／TCP 会議報告および最近の状況報告
   - ・勉強会「水素燃料貫流蒸気ボイラの開発」（講師：三浦工業 竹本真典氏）

１－２　刊行

○日本エネルギー学会誌「Journal of the Japan Institute of Energy」（電子版、毎月）

査読付き投稿論文　J-STAGE に掲載

○日本エネルギー学会機関誌「えねるみくす」 6 冊発行（電子版・冊子、隔月）

特集記事／トピックス　第 100 巻　第 1 号～第 6 号　（第 5 号はアニュアルレビュー号）

１－３　部会関連

(1) 石炭科学部会

・第 58 回石炭科学会議（主催：石炭科学部会、コークス工学研究部会、重質油部会）

（10/26～27、Web 開催 参加者：85 名）

【研究発表】

口頭発表：34 件／9 セッション

【招待講演】

「石炭中微量有害成分の形態と挙動」　菅原勝康(秋田大学名誉教授)

「エナジートランジションの時代における石炭ガス化/IGCC 技術の展望」

藤井 貴(三菱重工業株式会社)

「固体燃焼における灰付着と高温腐食」　長沼 宏(東北発電工業株式会社)

【特別講演】

「６億年間の動物の進化と盛衰を左右した５つの事件の経緯」　海保邦夫(東北大学名誉教授)

・第 58 回石炭科学会議　第 1 回実行委員会（4/13：Web 開催）

・第 58 回石炭科学会議　プログラム編成委員会（8/18：Web 開催）

・第 58 回石炭科学会議　第 2 回実行委員会（8/19：Web 開催）

・第 58 回石炭科学会議　第 3 回実行委員会（10/27：Web 開催）

(2) コークス工学研究部会

・第 58 回石炭科学会議：石炭科学部会と共催（10/26～27）（石炭科学部会欄参照）

・第 58 回石炭科学会議　実行委員会（石炭科学部会欄参照）

(3) 重質油部会

・第 58 回石炭科学会議：石炭科学部会と共催（10/26～27）（石炭科学部会欄参照）

・第 58 回石炭科学会議　実行委員会（石炭科学部会欄参照）

(4) 天然ガス部会

［部会共通］
・天然ガス部会 日本エネルギー学会100周年記念事業企画案検討WG（3/15、5/15、10/26）
・合同幹事会　2回（7/28 Web開催、12/14 会議室＋Web開催併用）
天然ガス部会100周年記念行事企画検討、2021年活動方針および上半期活動実績確認 等
［GH（ガスハイドレート）研究会］
・第 57 回 GH 研究会（3/5 Web 開催、参加者 45 名）
講演 1. 商業化に向けたインタラクティブなコンセプト評価モデル
和田 良太（東京大学）、今野 義浩（東京大学）
講演 2. ラマン分光法によるガスハイドレートに包接されたゲスト分子の分子内振動の温度依存性の考察　伏屋　豪（北見工業大学）
講演 3. 研究生活を振り返って　山本 佳孝（産業技術総合研究所）
・第 58 回 GH 研究会（8/7：Web 開催、参加者 44 名）
講演 1. 十勝沖メタンハイドレートからの水素製造　岡崎 文保（北見工業大学）
講演 2. 新しいメタンハイドレート開発システムを考えるワークショップに向けて：認知バイアスに注目したアイデア創出手法の活用
彭 思雄（東京大学 新領域創成科学研究科）
講演 3. ガスハイドレートにおけるメモリー効果
Nobuo Maeda (Associate Professor, University of Alberta)

(5) バイオマス部会

・第16回バイオマス科学会議（1/20～21 Web開催）（参加者：85名）
【研究発表】
口頭発表：28 件／8 セッション、ポスター発表：15 件
【依頼講演】
カーボンリサイクルに資する微生物発酵技術　中島田豊（広島大学）
・第8回アジアバイオマス科学会議（共催：アジアバイオマス協議会）
（1/22 オンライン開催、参加者：90名）
【研究発表】
口頭発表：14 件／4 セッション、ポスター発表：15 件
【基調講演】
「Enhancing Climate Adaptation Capacity of a 4.9 MW Biomass Power Plant through the Concept of Energy Resilience」
Nuwong Chollacoop 博士（タイ科学技術省国立科学技術研究所金属材料技術開発センター）
・2021年度「バイオマス夏の学校」（9/14 Web開催、参加者：43名）
○バイオマスを巡る最近の動向　山本 博巳（(一財)電力中央研究所・バイオマス部会長）
泊 みゆき（バイオマス産業社会ネットワーク理事長）
○長岡市周辺におけるバイオマス利用の取り組み
「長岡の風土・歴史・産業から生まれるバイオコミュニティ」小笠原渉（長岡技術科学大学）
「長岡市の取組み　生ごみバイオガス化事業」　小林 芳文（長岡市環境部環境施設課）
「大原鉄工所のバイオマス利活用技術のご紹介」　齋藤 忍（(株)大原鉄工所）
○総合討論
・第21回バイオマス関連部会・研究会合同交流会「カーボンニュートラルに貢献する木質バイオマスのマテリアル利用」（12/20 Web開催）
【主催】(公社)化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会、(一社)日本エネルギー学会バイオマス部会、(一社)日本木材学会バイオマス変換研究会、バイオマス利用研究会、木質バイオマス利用研究会、(一財)バイオインダストリー協会 アルコール・バイオマス研究会

〇各部会・研究会活動紹介
〇キーノートレクチャー
「カーボンニュートラル実現に向けた取り組み～バイオエコノミーの視点から～」
水無 渉（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)）
〇講演
「木材パルプから作られる機能性フィルム・環境対応素材について」杉山公寿（レンゴー）
「日本製紙でのセルロースナノファイバーの開発状況」金野晴男（日本製紙）
「低縮合リグニンによる土壌改質技術」藤井亮輔（花王）
「湿式粉砕と酵素反応を複合した植物高分子の新しい抽出・利用技術の開発」敷中一洋（産総研）

・第16回バイオマス科学会議 第1回実行委員会（1/19 オンライン開催）
・第16回バイオマス科学会議 第2回実行委員会（1/21 オンライン開催）
・バイオマス部会総会（8/5 オンライン開催）
・第17回バイオマス科学会議 第1回実行委員会（12/27 オンライン開催）

(6) 新エネルギー・水素部会

・新エネルギー・水素部会 総合討論（8/5 於 第30回日本エネルギー学会大会、Web開催）
- 次世代エネルギー、気候変動等に関する討論
- 若手研究者、学生との意見交換

・日本エネルギー学会第30回大会 事前打ち合わせ（8/2 Web開催）
・幹事会 3回（1/12 広島大学、4/8 Web開催、8/4 Web開催）
- えねるみくす特集号、連載講座に関する打合せ
- 百周年記念事業に関する打合せ
- その他、今後の運営体制や活動内容 等

・百周年記念事業会議（3/5 Web開催）

(7) ガス化部会

・ガス化部会幹事会（2/18 Web開催）100周年記念行事、2021年度活動を協議
・ガス化部会幹事会（10/22 Web開催）100周年記念行事について協議
・ガス化部会幹事会（11/23 Web開催）100周年記念行事/同記念企画について協議

(8) 燃焼部会

・「燃焼に関する講習会」～エネルギー管理士（熱分野）への第一歩～
（7/1～8/7：オンデマンド配信）（受講者：43名）
【講習会】
1.「熱力学の基礎」 飯島 晃良（日本大学）
2.「流体工学の基礎」 飯島 晃良（日本大学）
3.「伝熱工学の基礎」 奥村 幸彦（香川大学）
4.「計測と自動制御」 神原 信志（岐阜大学）
5.「燃料と燃焼」 奥村 幸彦（香川大学）

・燃焼部会 部会（8/5 Web開催）100周年記念事業、部会スケジュールを協議

(9) 液体微粒化部会

・第17回微粒化セミナー（日本液体微粒化学会と共同主催）
新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止とした。

・第 30 回微粒化シンポジウム（30th Symposium （ILASS-Japan） on Atomization）
（日本液体微粒化学会（ILASS-Japan）と共同主催）
（12/16～17：オンライン開催）
【研究発表】
口頭発表：35 件／9 セッション
【特別講演】
「固体面上を流れる液膜の分裂過程」　稲村隆夫（弘前大学）

（10）省エネルギー・消費者行動部会

・幹事会 3 回（3/25：Web 開催、8/4：Web 開催、11/30：Web 開催）

（11）リサイクル部会

・リサイクル部会 幹事会（3/30 Web 開催）100 周年記念行事、出版企画等協議
・リサイクル部会編集委員会（4/14 Web 開催）『廃プラスチックの科学と技術（仮題）』
・リサイクル部会編集委員会（6/19 Web 開催）『廃プラスチックの科学と技術（仮題）』
・2021 年度の三部会（RGB:リサイクル・バイオマス・ガス化）シンポジウムは中止とした。

（12）「エネルギー学」部会

・「エネルギー学」部会 学融合分科会セミナー
～エネルギー移行期における石炭が担う役割と可能性～（2/24 Web 開催）
講演１：「エネルギー・環境を巡る動向と低炭素・脱炭素への取組み」
廣田 康規（電源開発(株)火力エネルギー部）
講演２：「再生可能エネルギーと共存する石炭火力発電の役割」
吉葉 史彦（(一財)電力中央研究所エネルギー技術研究所）
・「エネルギー学」政策分科会セミナー（9/24 オンライン開催）
講演１「水素ステーションと水素インフラ整備に関わる現状と展望」
三浦 真一（(株)神戸製鋼所水素エネルギー室）
講演２「神戸関西圏における水素利活用の将来ビジョンと需給の定量化」
井上 恭豪（岩谷産業(株)水素本部）、竹原 優（丸紅(株)新エネルギー開発部）
・「エネルギー学」教育分科会セミナー（12/10 オンライン開催）
講演１「環境省における水素社会実現に向けた取組みについて」
大谷 直人（環境省地球温暖化対策事業室）
講演２「CCS の地域受容性 -苫小牧地域における意識調査-」
窪田ひろみ（(一財)電力中央研究所サステナブルシステム研究本部）
・「エネルギー学」部会 運営委員会　3 回（5/31、8/4、12/10 オンライン開催）
・「エネルギー学」部会第 8 回部会総会（8/4 オンライン会議 ）

（13）若手研究者の勉強会

・若手研究者の勉強会　講演会（8/5 Web 開催 第 30 回日本エネルギー学会大会期間中）
講演 「産業連関表を用いた鉄鋼マテリアルフロー分析とエネルギーフローへの含意」
中村　愼一郎（早稲田大学政治経済学術院　教授）

１－４　支部関連

（1）北海道支部

・第 21 回北海道エネルギー資源環境研究発表会および見学会（主催）
開催日: 7 月 30 日（金）11:00～16:55
見学会: 北海道ガス本社札幌発電所
講演会: 北海道ガス本社 2 階ホール　（実参加＋Web　ハイブリッド形式）
① エネルギーの地産地消を通じた地域連携・再エネ推進の取組　　北海道ガス　武田清賢

② 下川町の森林バイオマスエネルギーの取組　　下川町　山本敏夫
③ 木質バイオマス利用の進め方～事例紹介とその手法～
森のエネルギー研究所　椎谷悟
④ 地球温暖化の現状と苫小牧 CCS 実証試験について　　日本 CCS 調査　石和田彰
参加者: 実参加 31 名、Web 参加 26 名（事前登録者数）

・総会・幹事会　1 回（1/29：メール審議）
・庶務幹事会　10 回（1/6、2/22、3/10、5/10、6/15、7/19、9/10、9/21、10/24、12/10 Web 開催）
・共催・協賛行事
日本化学会北海道支部 2021 年夏季研究発表会（7/17 Web 開催：共催）
第 10 回エネルギー・マテリアル融合領域シンポジウム（11/11 Web 開催：協賛）

(2) 東北支部

・令和 3 年度講演会（11/5：Microsoft Teams によるオンライン）新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで実施
・2021 年度第 1 回役員会（7/8：Microsoft Teams によるオンライン）
・2021 年度第 2 回役員会（12/2：Microsoft Teams によるオンライン）
・共催・協賛行事
第 15 回学都「仙台・宮城」サイエンスデイ 2021（7/18：オンライン、名義後援）
化学工学会東北支部 第 26 回東北ジョイント夏季セミナー（9/8-9：オンライン、協賛）
火力原子力発電技術協会東北支部 令和 3 年度技術講習会（9/14：オンライン、協賛）
火力原子力発電技術協会東北支部 令和 3 年度研究発表会（12/1：オンライン、協賛）

(3) 関西支部

・第 37 回 関西支部セミナー ～廃棄物のケミカルリサイクルの動向～
（石油学会関西支部共催）（10/15 オンライン開催）
【講演】
1. 注目されるケミカルリサイクルの世界的動向　　府川 伊三郎（(株)旭リサーチセンター）
2. 廃棄プラスチックからの水素エネルギー再生とその実用展開 2021
栗山 常吉（昭和電工(株)）
3. 廃プラスチック油化によるケミカルリサイクル　　野田 修嗣（環境エネルギー(株)）
4. メタネーション反応器開発における産学連携　　則永 行庸（名古屋大学）

・関西支部第 66 回研究発表会（石油学会関西支部共催）
（12/3 関西大学千里山キャンパス）
【研究発表】口頭発表：19 件
【講演】
1. 旭化成のカーボンリサイクルへの取り組みのご紹介　　西山ブディアント（旭化成(株)）
2. 炭素－水素結合の活性化を基盤とする芳香族カップリング反応の開発
三浦 雅博（大阪大学）

・幹事会　4 回（1/22、4/27、7/20、10/15 オンライン開催）

(4) 西部支部

・第 20 回九州低炭素システム研究会（参加者：約 60 名）
（6/30 西日本総合展示場）（経済産業省九州経済産業局、九州大学との共同開催）
【内容】

講演 1「カーボンニュートラルおよびネガティブな炭素資源の転換利用」　林潤一郎（九州大学）
講演 2「低濃度 CO_2 の分離回収にむけた冷熱利用化学吸収プロセスの研究開発」　則永行庸（名古屋大学）
講演 3「佐賀市におけるサーキュラーバイオエコノミーの実践～資源循環による CO_2 を活用した産業創出」
江島英文（佐賀市）

・第 4 回　学生・若手研究発表会（中止）
・共催・協賛行事（なし）

１－５　受託調査関連

No.	テ ー マ 名	委託元	期 間	委員長
1	日本 IEA 燃焼研究－燃焼に関する省エネルギーと排出物低減	IEA 研究会維持会員	2021.6－2022.5	石間 経章

２．会員状況報告

		2020 年度末数	増（＋）	減（－）	2021 年度末数
維持会員	特級	3	0	0	3
	1 級	2	0	0	2
	2 級	2	0	0	2
	3 級	7	0	0	7
	4 級	18	1	1	18
	5 級	82	1	4	79
小　計		**114**	**2**	**5**	**111**
名誉会員		17	1	0	18
正会員（*）		1,163	83	113	1,133
小　計		**1,180**	**84**	**113**	**1,151**
賛助会員		91	6	4	93
合　計		**1,385**	**92**	**122**	**1,355**

（*）正会員：減（－）には正会員から名誉会員への変更（1 名）を含む。

≪参考≫正会員におけるシニア会員・学生会員の構成比率

2017 年度末　シニア会員　231（18%）、学生会員　102（8%）
2018 年度末　シニア会員　222（18%）、学生会員　139（11%）
2019 年度末　シニア会員　224（18%）、学生会員　154（12%）
2020 年度末　シニア会員　210（18%）、学生会員　120（10%）
2021 年度末　シニア会員　211（19%）、学生会員　119（10%）

２０２１年度事業報告　附属明細書

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

第２号議案　２０２１年１月１日から２０２１年１２月３１日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認の件

貸借対照表

2021年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

（単位：円）

科　　目	(A) 当年度	(B) 前年度	(A－B) 増　減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金	47,701,064	45,615,690	2,085,374
売掛金	390,591	428,268	△ 37,677
未収金	1,291,400	988,597	302,803
前払金	583,929	457,224	126,705
棚卸資産	1,565,327	1,577,927	△ 12,600
立替金	1,207	△ 701	1,908
流動資産合計	51,533,518	49,067,005	2,466,513
2．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引預金	200,000	200,000	0
基本財産合計	200,000	200,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引預金	4,155,800	3,708,000	447,800
会費補填引預金	9,500,000	9,500,000	0
特定資産合計	13,655,800	13,208,000	447,800
(3) その他固定資産			
電話加入権	30,550	30,550	0
借室保証金	3,488,000	3,488,000	0
その他固定資産合計	3,518,550	3,518,550	0
固定資産合計	17,374,350	16,926,550	447,800
資産合計	68,907,868	65,993,555	2,914,313
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金	364,890	329,710	35,180
前受金	847,000	749,000	98,000
預り金	398,189	428,639	△ 30,450
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	439,402	115,753	323,649
流動負債合計	2,119,481	1,693,102	426,379
2．固定負債			
退職給付引当金	4,155,800	3,708,000	447,800
固定負債合計	4,155,800	3,708,000	447,800
負債合計	6,275,281	5,401,102	874,179
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2．一般正味財産	62,632,587	60,592,453	2,040,134
（うち基本財産への充当額）	(200,000)	(200,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(13,655,800)	(13,208,000)	(447,800)
正味財産合計	62,632,587	60,592,453	2,040,134
負債及び正味財産合計	68,907,868	65,993,555	2,914,313

貸借対照表内訳表

2021年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会　　（単位：円）

科　　目	実施事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
Ⅰ　資産の部				
1．流動資産				
現金預金	△ 175, 590, 559	72, 728, 801	150, 562, 822	47, 701, 064
売掛金	204, 251	186, 340	0	390, 591
未収金	0	0	1, 291, 400	1, 291, 400
前払金	0	195, 849	388, 080	583, 929
棚卸資産	630, 000	935, 327	0	1, 565, 327
立替金	0	0	1, 207	1, 207
流動資産合計	△ 174, 756, 308	74, 046, 317	152, 243, 509	51, 533, 518
2．固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引預金	0	0	200, 000	200, 000
基本財産合計	0	0	200, 000	200, 000
(2) 特定資産				
退職給付引預金	0	0	4, 155, 800	4, 155, 800
会費補填引預金	0	0	9, 500, 000	9, 500, 000
特定資産合計	0	0	13, 655, 800	13, 655, 800
(3) その他固定資産				
電話加入権	0	0	30, 550	30, 550
借室保証金	0	0	3, 488, 000	3, 488, 000
その他固定資産合計	0	0	3, 518, 550	3, 518, 550
固定資産合計	0	0	17, 374, 350	17, 374, 350
資産合計	△ 174, 756, 308	74, 046, 317	169, 617, 859	68, 907, 868
Ⅱ　負債の部				
1．流動負債				
未払金	0	364, 890	0	364, 890
前受金	0	847, 000	0	847, 000
預り金	0	17, 795	380, 394	398, 189
未払法人税等	0	0	70, 000	70, 000
未払消費税等	0	0	439, 402	439, 402
流動負債合計	0	1, 229, 685	889, 796	2, 119, 481
2．固定負債				
退職給付引当金	0	0	4, 155, 800	4, 155, 800
固定負債合計	0	0	4, 155, 800	4, 155, 800
負債合計	0	1, 229, 685	5, 045, 596	6, 275, 281
Ⅲ　正味財産の部				
1．指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	0
2．一般正味財産	△ 174, 756, 308	72, 816, 632	164, 572, 263	62, 632, 587
（うち基本財産への充当額）	0	0	200, 000	200, 000
（うち特定資産への充当額）	0	0	13, 655, 800	13, 655, 800
正味財産合計	△ 174, 756, 308	72, 816, 632	164, 572, 263	62, 632, 587
負債及び正味財産合計	△ 174, 756, 308	74, 046, 317	169, 617, 859	68, 907, 868

附　属　明　細　書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記において記載をしている。

2. 引当金の明細

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,708,000	447,800	0	0	4,155,800

正味財産増減計算書

2021年 1月 1日から2021年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

科　　目	(A) 当年度	(B) 前年度	(A－B)（単位：円） 増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[33,492,560]	[31,831,800]	[1,660,760]
維持会員受取会費	21,400,000	21,700,000	△ 300,000
賛助会員受取会費	2,014,000	1,920,000	94,000
正会員受取会費	10,078,560	8,211,800	1,866,760
事業収益	[15,607,598]	[10,443,904]	[5,163,694]
講演講習会収益	4,791,661	2,733,397	2,058,264
分析収益	2,435,400	211,635	2,223,765
安息香酸収益	3,690,720	2,580,600	1,110,120
調査研究収益	1,419,850	1,450,660	△ 30,810
会誌別刷売上	227,335	339,427	△ 112,092
広告収益	190,666	183,333	7,333
書籍収益	228,550	423,045	△ 194,495
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,223,416	1,121,807	101,609
受取寄付金	[400]	[0]	[400]
受取寄付金	400	0	400
雑収益	[104,060]	[3,900,937]	[△ 3,796,877]
受取利息	1,315	2,258	△ 943
雑収益	102,745	3,898,679	△ 3,795,934
経常収益計	49,204,618	46,176,641	3,027,977
(2) 経常費用			
事業費	[31,144,386]	[29,886,325]	[1,258,061]
給料手当	8,341,130	9,051,941	△ 710,811
講演講習会運営費	76,048	1,217,754	△ 1,141,706
旅費交通費	53,427	336,048	△ 282,621
通信運搬費	737,089	593,283	143,806
調査研究費	364,890	319,850	45,040
消耗品費	10,929	6,656	4,273
印刷製本費	8,819,631	8,097,220	722,411
支部費	1,400,000	1,400,000	0
借室費	3,222,912	3,222,912	0
会議費	40,000	48,625	△ 8,625
諸謝金	1,575,663	1,345,329	230,334
租税公課	4,000	156,200	△ 152,200
分析費	1,826,550	158,726	1,667,824
安息香酸費	2,952,576	2,064,480	888,096
雑費	1,612,942	1,769,276	△ 156,334
出入金手数料	106,599	98,025	8,574
管理費	[15,952,866]	[14,084,049]	[1,868,817]
給料手当	3,574,771	3,879,403	△ 304,632
派遣手数料	1,955,546	0	1,955,546
社会保険料	1,418,471	1,562,707	△ 144,236
退職給付費用	447,800	433,800	14,000
労働保険料	157,471	123,776	33,695
福利厚生費	7,119	27,538	△ 20,419
会議費	558,100	699,450	△ 141,350
旅費交通費	1,061,668	1,031,320	30,348
通信運搬費	1,365,648	1,295,896	69,752

科　　目	(A) 当年度	(B) 前年度	(A－B) 増　減
消耗品費	70,881	117,375	△ 46,494
印刷製本費	486,075	459,957	26,118
光熱水料費	282,548	335,394	△ 52,846
借室費	1,381,248	1,381,248	0
保険料	7,080	6,920	160
租税公課	788,569	314,106	474,463
雑費	2,389,871	2,415,159	△ 25,288
出入金手数料	[67,232]	[91,740]	[△ 24,508]
雑損出	[0]	[550]	[△ 550]
経常費用計	47,164,484	44,062,664	3,101,820
評価損益等調整前当期経常増減額	2,040,134	2,113,977	△ 73,843
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,040,134	2,113,977	△ 73,843
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	[0]	[75,000]	[△ 75,000]
経常外収益計	0	75,000	△ 75,000
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	[0]	[23,650]	[△ 23,650]
経常外費用計	0	23,650	△ 23,650
当期経常外増減額	0	51,350	△ 51,350
当期一般正味財産増減額	2,040,134	2,165,327	△ 125,193
一般正味財産期首残高	60,592,453	58,427,126	2,165,327
一般正味財産期末残高	62,632,587	60,592,453	2,040,134
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	62,632,587	60,592,453	2,040,134

正味財産増減計算書内訳表

2021年 1月 1日から2021年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

（単位：円）

科目	実施事業会計		その他事業会計				法人会計	合計
	会誌発行	表彰事業	講演講習会	依頼分析	調査研究	書籍	法人会計	
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取会費	0	0	8,373,140	251,194	0	1,255,971	23,612,255	33,492,560
継持会員受取会費	0	0	8,373,140	251,194	0	1,255,971	11,519,695	21,400,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	2,014,000	2,014,000
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	10,078,560	10,078,560
事業収益	1,641,417	0	6,244,241	6,126,120	1,419,850	175,970	0	15,607,598
講演講習会収益	0	0	4,791,661	0	0	0	0	4,791,661
分析収益	0	0	0	2,435,400	0	0	0	2,435,400
安息香酸収益	0	0	0	3,690,720	0	0	0	3,690,720
調査研究収益	0	0	0	0	1,419,850	0	0	1,419,850
会誌別刷売上	227,335	0	0	0	0	0	0	227,335
広告収益	190,666	0	0	0	0	0	0	190,666
書籍収益	0	0	52,580	0	0	175,970	0	228,550
支部収益	0	0	1,400,000	0	0	0	0	1,400,000
会誌掲載料	1,223,416	0	0	0	0	0	0	1,223,416
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	400	400
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	400	400
雑収益	5,566	14,312	35,376	38,511	0	9,038	1,257	104,060
受取利息	0	12	46	0	0	0	1,257	1,315
雑収益	5,566	14,300	35,330	38,511	0	9,038	0	102,745
経常収益計	1,646,983	14,312	14,652,757	6,415,825	1,419,850	1,440,979	23,613,912	49,204,618
(2) 経常費用								
事業費	12,100,900	1,051,667	7,952,208	5,615,689	3,582,319	841,603	0	31,144,386
給料手当	1,191,590	595,795	3,574,770	595,795	1,787,385	595,795	0	8,341,130
講演講習会運営費	0	0	76,048	0	0	0	0	76,048
旅費交通費	0	0	53,427	0	0	0	0	53,427
通信運搬費	608,054	23,700	49,675	0	55,660	0	0	737,089
調査研究費	0	0	0	0	364,890	0	0	364,890
消耗品費	0	0	10,929	0	0	0	0	10,929
印刷製本費	8,260,394	0	543,637	0	0	15,600	0	8,819,631
支部費	0	0	1,400,000	0	0	0	0	1,400,000
借室費	460,416	230,208	1,381,248	230,208	690,624	230,208	0	3,222,912
会議費	0	0	40,000	0	0	0	0	40,000
諸謝金	1,033,000	0	527,663	0	15,000	0	0	1,575,663
租税公課	4,000	0	0	0	0	0	0	4,000
分析費	0	0	0	1,826,550	0	0	0	1,826,550
安息香酸費	0	0	0	2,952,576	0	0	0	2,952,576
雑費	484,750	201,304	266,388	0	660,500	0	0	1,612,942
出入金手数料	58,696	660	28,423	10,560	8,260	0	0	106,599
管理費	0	0	0	0	0	0	15,952,866	15,952,866
給料手当	0	0	0	0	0	0	3,574,771	3,574,771
派遣手数料	0	0	0	0	0	0	1,955,546	1,955,546
社会保険料	0	0	0	0	0	0	1,418,471	1,418,471
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	447,800	447,800
労働保険料	0	0	0	0	0	0	157,471	157,471
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	7,119	7,119
会議費	0	0	0	0	0	0	558,100	558,100
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	1,061,668	1,061,668
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	1,365,648	1,365,648
消耗品費	0	0	0	0	0	0	70,881	70,881
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	486,075	486,075
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	282,548	282,548
借室費	0	0	0	0	0	0	1,381,248	1,381,248
保険料	0	0	0	0	0	0	7,080	7,080
租税公課	0	0	0	0	0	0	788,569	788,569
雑費	0	0	0	0	0	0	2,389,871	2,389,871
出入金手数料	0	0	0	0	0	0	67,232	67,232
経常費用計	12,100,900	1,051,667	7,952,208	5,615,689	3,582,319	841,603	16,020,098	47,164,484
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,453,917	△ 1,037,355	6,700,549	800,136	△ 2,162,469	599,376	7,593,814	2,040,134
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,453,917	△ 1,037,355	6,700,549	800,136	△ 2,162,469	599,376	7,593,814	2,040,134
2．経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,453,917	△ 1,037,355	6,700,549	800,136	△ 2,162,469	599,376	7,593,814	2,040,134
一般正味財産期首残高	△ 150,163,839	△ 13,101,197	59,063,264	3,172,634	△ 8,612,712	13,255,854	156,978,449	60,592,453
一般正味財産期末残高	△ 160,617,756	△ 14,138,552	65,763,813	3,972,770	△ 10,775,181	13,855,230	164,572,263	62,632,587
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 160,617,756	△ 14,138,552	65,763,813	3,972,770	△ 10,775,181	13,855,230	164,572,263	62,632,587

財産目録

2021年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	910,988
	預金	普通預金		22,761,954
		三菱UFJ銀行1772623		6,175,198
		三井住友銀行7469252		13,990,406
		三菱UFJ銀行1772610		1,105,230
		三菱UFJ銀行2129006		105,225
		三菱UFJ銀行2129077		1,385,895
		振替預金		2,945,209
		支部現金預金		6,060,808
		関西支部勘定		2,373,238
		西部支部勘定		1,721,442
		北海道支部勘定		765,645
		東北支部勘定		1,200,483
		定期預金		15,022,105
		三菱UFJ銀行1772610	100周年記念事業資金として	5,000,000
		三井住友銀行1380004		10,022,105
	売掛金			390,591
	未収金			1,291,400
	前払金			583,929
	棚卸資産			1,565,327
	立替金			1,207
流動資産合計				51,533,518
（固定資産）				
基本財産				
	基本財産引預金	（定期）三菱UFJ銀行		200,000
特定資産				
	退職給付引預金	（普通）三菱UFJ銀行		4,155,800
	会費補填引預金	（定期）三菱UFJ銀行		9,500,000
その他固定資産				
	電話加入権			30,550
	借室保証金			3,488,000
固定資産合計				17,374,350
資産合計				68,907,868
（流動負債）				
	未払金			364,890
	前受金			847,000
	預り金			398,189
	給与等源泉徴収			380,394
	諸謝金源泉徴収			17,795
	未払法人税等			70,000
	未払消費税等			439,402
流動負債合計				2,119,481
（固定負債）				
	退職給付引当金			4,155,800
固定負債合計				4,155,800
負債合計				6,275,281
正味財産				62,632,587

予算対比正味財産増減計算書

2021年 1月 1日から2021年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(単位：円)

科目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A－B) 差異
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[31,820,000]	[33,492,560]	[△ 1,672,560]
維持会員受取会費	21,800,000	21,400,000	400,000
賛助会員受取会費	1,820,000	2,014,000	△ 194,000
正会員受取会費	8,200,000	10,078,560	△ 1,878,560
事業収益	[21,190,000]	[15,607,598]	[5,582,402]
講演講習会収益	14,000,000	4,791,661	9,208,339
分析収益	200,000	2,435,400	△ 2,235,400
安息香酸収益	2,500,000	3,690,720	△ 1,190,720
調査研究収益	1,100,000	1,419,850	△ 319,850
会誌別刷売上	300,000	227,335	72,665
広告収益	180,000	190,666	△ 10,666
書籍収益	410,000	228,550	181,450
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,100,000	1,223,416	△ 123,416
受取寄付金	[0]	[400]	[△ 400]
受取寄付金	0	400	△ 400
雑収益	[125,000]	[104,060]	[20,940]
受取利息	2,000	1,315	685
雑収益	123,000	102,745	20,255
経常収益計	53,135,000	49,204,618	3,930,382
(2) 経常費用			
事業費	[25,022,000]	[31,144,386]	[△ 6,122,386]
給料手当	0	8,341,130	△ 8,341,130
講演講習会運営費	7,200,000	76,048	7,123,952
旅費交通費	1,250,000	53,427	1,196,573
通信運搬費	695,000	737,089	△ 42,089
調査研究費	0	364,890	△ 364,890
消耗品費	7,000	10,929	△ 3,929
印刷製本費	8,430,000	8,819,631	△ 389,631
支部費	1,400,000	1,400,000	0
借室費	0	3,222,912	△ 3,222,912
会議費	100,000	40,000	60,000
諸謝金	1,900,000	1,575,663	324,337
租税公課	0	4,000	△ 4,000
分析費	150,000	1,826,550	△ 1,676,550
安息香酸費	2,000,000	2,952,576	△ 952,576
雑費	1,800,000	1,612,942	187,058
出入金手数料	90,000	106,599	△ 16,599
管理費	[27,937,000]	[15,952,866]	[11,984,134]
給料手当	13,000,000	3,574,771	9,425,229
派遣手数料	0	1,955,546	△ 1,955,546
社会保険料	1,600,000	1,418,471	181,529
退職給付費用	450,000	447,800	2,200
労働保険料	250,000	157,471	92,529
福利厚生費	50,000	7,119	42,881
会議費	730,000	558,100	171,900
旅費交通費	1,200,000	1,061,668	138,332
通信運搬費	1,500,000	1,365,648	134,352

科　　目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A－B) 差　異
消耗品費	200,000	70,881	129,119
印刷製本費	750,000	486,075	263,925
光熱水料費	350,000	282,548	67,452
借室費	4,600,000	1,381,248	3,218,752
保険料	7,000	7,080	△ 80
諸謝金	50,000	0	50,000
租税公課	700,000	788,569	△ 88,569
雑費	2,500,000	2,389,871	110,129
出入金手数料	[150,000]	[67,232]	[82,768]
経常費用計	53,109,000	47,164,484	5,944,516
評価損益等調整前当期経常増減額	26,000	2,040,134	△ 2,014,134
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	26,000	2,040,134	△ 2,014,134
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	26,000	2,040,134	△ 2,014,134
一般正味財産期首残高	60,592,453	60,592,453	0
一般正味財産期末残高	60,618,453	62,632,587	△ 2,014,134
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	60,618,453	62,632,587	△ 2,014,134

※【配賦前の合計額】

科目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A－B) 差異
給料手当	13,000,000	11,915,901	1,084,099
借室費	4,600,000	4,604,160	△ 4.160

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

平成22年12月期から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日　平成21年10月16日改正　内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1)　資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収金、前払金、棚卸資産、立替金、仮払金、買掛金、未払金、前受金、預り金、仮受金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

(2)　退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度以降において発生すると認められる債務額を計上している。

(3)　棚卸資産の評価基準及び評価方法

当事業年度末における会誌及び書籍の在庫額を計上している。

(4)　消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 正味財産に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科　目	前期末残高	当期末残高
基本財産	200,000	200,000
電話加入権	30,550	30,550
借室保証金	3,488,000	3,488,000
退職給付引当預金	3,708,000	4,155,800
会費補填引当預金	9,500,000	9,500,000
合　計	16,926,550	17,374,350
現金預金	45,615,690	47,701,064
売掛金	428,268	390,591
未収金	988,597	1,291,400
前払金	457,224	583,929
棚卸資産	1,577,927	1,565,327
立替金	-701	1,207
仮払金	0	0
合　計	49,067,005	51,533,518
退職給付引当金	3,708,000	4,155,800
合　計	3,708,000	4,155,800
買掛金	0	0
未払金	329,710	364,890
前受金	749,000	847,000
預り金	428,639	398,189
仮受金	0	0
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	115,753	439,402
合　計	1,693,102	2,119,481
正味財産	60,592,453	62,632,587

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	200,000	0	0	200,000
小　計	200,000	0	0	200,000
特定資産				
退職給付引当預金	3,708,000	447,800	0	4,155,800
会費補填引当預金	9,500,000	0	0	9,500,000
小　計	13,208,000	447,800	0	13,655,800
合　計	13,408,000	447,800	0	13,855,800

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は，次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産引当預金	200,000	0	200,000	0
小　計	200,000	0	200,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	4,155,800	0	4,155,800	4,155,800
会費補填引当預金	9,500,000	0	9,500,000	0
小　計	13,655,800	0	13,655,800	4,155,800
合　計	13,855,800	0	13,855,800	4,155,800

附　属　明　細　書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記において記載をしている。

2. 引当金の明細

引当金については、財務諸表の注記において記載をしている。

監 査 報 告 書

一般社団法人　日本エネルギー学会
会　　長　　齋藤　公児　殿

2022年1月19日

監　事　　島田 秀顕 印

監　事　　水本 明彦 印

私は、2021年1月1日から2021年12月31日までの2021年会計年度における会計および業務監査を行い、次のとおり報告する。

1．監査の方法の概要

（1）会計監査　　帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。

（2）業務監査　　理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

2．監査意見

（1）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。

（2）事業報告書の内容は事実であると認める。

（3）理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以　上

第３号議案　2022 年度理事選任の承認の件

理事（交替）

１．2021 年度第 6 回定例理事会（2022 年 1 月 24 日）議決済

後藤　章（ゴトウ アキラ）氏（東京電力ホールディングス株式会社）
定梶 潤 氏より社内事情により理事を交替

山下　亨（ヤマシタ トオル）氏（出光興産株式会社）
藤原 尚樹 氏より社内事情により理事を交替

第４号議案　2022 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

2022 年度の主たる事業計画

１．指針

本年、当学会は創立 100 周年を迎えるにあたり、100 周年記念事業のテーマとして「2050 年カーボンニュートラルに向けたエネルギー・環境問題の解決への貢献」を掲げ、学会内外に向けて積極的に情報発信を行っていく。

昨今の世界的なコロナ禍の影響を受けつつも、真に持続可能な社会構築に向けて、地球温暖化防止等の環境保全、エネルギー資源の多様化、エネルギー自給率とコスト、安全性などの観点から、より一層の省エネルギーや資源循環を進めながら、化石エネルギー、再生可能エネルギー、原子力などのエネルギーミックスや対応技術を最適化することは、日本のエネルギー・環境政策に課せられた大きな課題である。特に、2020 年 10 月、政府は 2050 年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すと発表し、エネルギー基本計画の更なる見直しの中で電力の非化石化のみならず、運輸・産業界等でもより一層の化石資源使用の低減によって 2050 年カーボンニュートラルを実現するロードマップを提示することが喫緊の最重要課題となっている。

このような情勢の中、エネルギーに関連する各分野において、専門的かつ幅広い情報、人脈を有する当学会は、「環境の時代における化石資源と再生可能エネルギーのそれぞれの役割とそれを支える技術」に関する情報発信が大切である。学会活性化の要諦は部会および支部の活性化が基本であり、会員および社会の要望に対応するために、学会の委員会、部会、支部の活動の更なる活性化を図り、諸課題の解決に貢献していく。財務・運営タスクフォースの提言に沿って財務を強化しつつ、諸活動を進める。

２．委員会・部会・支部の活動方針および行事計画等

（１）委員会活動方針

委員会	活動方針
企画委員会	①　部会・支部と連携し、活発な学会活動を推進するための方策を検討する。 ②　産・官・学や他学会と連携を図り、地球環境問題などの課題への対応を検討する。 ③　会員に特典を供与するため、会員へのサービスの改善を検討する。 ④　理事会、会員増強委員会と連携し、維持会員サービスの向上および維持会員の拡充を推進する。 ⑤　ホームページの充実やメディア対応など積極的な広報活動を推進する。
総務委員会	①　一般社団法人に対応したガバナンスの向上（規程の制定や見直し等）を図る。 ②　学会の運営について随時必要な改善を図る。 ③　規程に沿って、事務局の人事体制を効率化、強化を図る。
財務委員会	①　学会経営の健全性を確認しながら、新型コロナウィルスの感染防止対策を含め、急速に変化する経営環境下での厳しい経済環境に対応して今後の安定的運営策を策定する。 ②　財務・運営タスクフォースのフォローの実施を通じて、財務収支の黒字基調を継続する。安定運営に必要な正味財産を確保する。
表彰委員会	①　表彰委員会において、応募件数増に繋がるよう対策を検討する。特に維持会員の新技術が応募対象になるよう周知方法等を検討する。 ②　功績賞、技術部門の候補については応募が広がるように検討する。 ③　必要に応じて表彰規程および表彰規程実施要領を改訂し、選考を適切に実施し、より有意義な表彰を行う。
会員増強委員会	①　会員にとってより魅力ある学会にする為の具体策について理事会、企画委員会と連携して検討し実施する。 ②　エネルギー、環境に関連する各種団体、企業等の入会勧誘策を検討して実施する。 ③　維持会員増強を理事の協力のもと具体的に進める。

委員会	活動方針
編集委員会	① 学会誌の２誌体制に対応した編集方針に基づき、各誌編集小委員会において会誌の一層の充実を図る。 ② 各部会との連携（特集記事／トピックス、講座の企画など）を強化する。 ③ Annual Energy Reviews 号（9 月号）の各分野の内容を充実して継続する。 ④ 機関誌えねるみくすの全記事を J-STAGE に掲載する。 ⑤ 機関誌えねるみくす電子化に伴い、電子版の充実を検討する。 ⑥ インパクトファクター取得等について検討を引き続き進める。
出版委員会	① 各種図書のタイムリーな出版に向けて、編集小委員会、各編集WG・執筆者・出版会社・学会事務局との調整を図りながら推進する。 ② 学会誌の特集記事、講座等を活用して出版への企画を行う。
国際委員会	① 学会の各種企画や年次大会において、各部会等と協力しながら海外からの講演を推進する。 ② アジア・太平洋地区の関係者と情報交換を通じて協力・連携を図る。 ③ アジアバイオマス科学会議など、国際会議の企画・運営を推進する。
大会実行委員会	① 第31回年次大会を円滑に推進する。なお、新型コロナウィルスの感染状況に対応して安全・衛生に配慮したオンライン開催やハイブリッド開催などの手段も講じる。 ② 大会の中でタイムリーな内容の特別講演、基調講演等を企画、実施する。 ③ 大会の中で論文賞の表彰を行い、学会誌への論文投稿を促す。 ④ 大会の中で幹事会の開催など各部会の活動を促す。
100周年記念事業委員会 100周年記念事業実行委員会	① 事業委員会は、100周年記念事業に関する意思決定機関として審議、承認を行う。 ② 実行委員会は、(i)実行委員会にて策定した記念式典等本部関連の実施計画を遂行する、(ii) 各部会・支部、編集委員会、出版委員会、大会実行委員会等の策定した実施計画の遂行につき各実施主体より報告を受ける、(iii)(i)、(ii)の進捗や結果について事業委員会（もしくは直近の理事会）への報告を行う。

（２）部会活動方針および行事計画等

部会	活動方針	行事計画等
石炭科学部会	① 石炭科学会議の活性化を図るため、石炭および炭素資源の研究・技術開発の他、カーボンリサイクル分野を取り入れて積極的に活動を推進する。 ② 若手研究者・技術者への技術の継承を目的として、石炭科学会議特別セミナー「石炭の研究・技術開発に取り組んで-わたしの自慢-」を企画する。 ③ 石炭・炭素資源有効利用研究会、JCOAL、NEDO等との連携を通して、若手石炭研究者や技術者の人材育成を推進する。	① 第 59 回石炭科学会議（10 月中を予定、札幌）を石炭・炭素資源有効利用研究会と合同開催、テクニカルツアーを実施（100 周年記念行事）。 ② サイドイベントとして特別企画～セミナー「石炭の研究・技術開発にとりくんで―わたしの自慢―」（上記会議前日、札幌）。 ③ 実行委員会・幹事会の開催（4 月、8 月、10 月）。

部会	活動方針	行事計画等
コークス工学研究部会	① コークス工学の深化と製造・利用技術の革新のための議論交換の場を提供する。 ② コークス生産技術の深化と関連産業への技術トランスファーおよび石炭資源の有効利用技術について議論する。 ③ 石炭科学部会との連携により、石炭科学会議への研究発表と勧誘活動を行う。 ④ コークス・ノートの発刊により、コークス工学に関する情報の発信と部会員の増加に努める。 ⑤ コークス工学における若手の研究者と技術者間の交流・討議の場を設けて活性化を図る。	① 第59回石炭科学会議（10月中を予定、札幌）を石炭科学部会と共同開催。「コークス」セッションの企画、運営、サイドイベントの共催。 ② 実行委員会・幹事会の開催（4月、8月、10月）。 ③ 機関誌Annual Energy Reviews号（9月号）の「コークス」執筆。 ④ 100周年記念事業の企画行事に対して実施計画を策定し実施する。
重質油部会	① 産学官連携を通じた重質油関連の技術開発、特に重質油有効利用拡大を目指した活動を図る。 ② 重質油およびハイドロカーボノミクスの将来の用途、適用可能な要素技術と課題のリストアップを行う。 重質油の動向に関する情報収集と発信を図る。	① 第59回石炭科学会議（10月末、札幌）の共催。 ② ハイドロカーボノミクスの用途、要素技術に関する勉強会の開催。 ③ 実行委員会・幹事会の開催（4月、8月、10月）。 ④ 特別記事「ペトロリオミクス技術開発（仮）」掲載（7月）。
天然ガス部会	① 真に持続的な社会構築に資するため、我が国の基幹エネルギーの１つである天然ガスに関して、カーボンニュートラル等の視点を加えながらその利用拡大を更に進めるため、資源開発・利用、輸送・貯蔵、科学・反応システムの３つの分科会において情報交換・情報提供を推進する。 ② 分科会に加え、非在来型天然ガスとして注目されているＣＢＭ・ＳＧ（コールベッドメタン・シェールガス）及びＧＨ（ガスハイドレート）に係る２つの研究会において、情報交換及び研究活動を行っていく。 ③ 各分科会及び研究会では、研究発表、シンポジウム、講習会、見学会等の活動を、独自にまたは合同で行い、部会メンバー（及び天然ガスに関心を持つ人達）の情報の共有や交流を深めていく。 機関紙「えねるみくす」に天然ガス関連の記事掲載を企画していく。	① 部会全体： ・部会員のための部会メールによる情報提供やホームページの充実を図っていく。 ・100周年記念事業の一環として、部会横断イベントの形で、天然ガス部会シンポジウム（仮題）を開催する。 ② 分科会：各分科会で見学会、講演会等を実施する。 ③ 研究会：各研究会で研究会等を実施する。

部会	活動方針	行事計画等
バイオマス部会	① バイオマス関連の情報交換、情報発信の場とする部会としての目的を遂行する。	① 年次大会(8 月)にて総会の開催。 ② 夏の学校(9 月頃予定)。 ③ 第 17 回バイオマス科学会議、第 9 回アジアバイオマス科学会議（1 月、web）実施。第 18 回バイオマス科学会議、第 10 回アジアバイオマス科学会議準備。 ④ バイオマス関連部会・研究会合同交流会の開催。 ⑤ 三部会（RGB）シンポジウム（ガス化部会・リサイクル部会と合同)。 ⑥ アジア・バイオマス協議会への協力。ホームページの拡充、ホームページへの広告募集、出版、編集への協力、受託調査等への協力。 ⑦ 2022 年度 100 周年記念事業を実施する（バイオマス科学会議、アジアバイオマス科学会議、年次大会)。
新エネルギー・水素部会	① 学会内において新エネルギー・水素関連技術開発(再生可能エネルギー、未利用エネルギー、水素エネルギー等の利用に関する技術開発)に関連する研究の促進や活性化を図る。 ② セミナー開催やメーリングリスト等を通して、上記の研究分野の最新研究動向を発信し、研究者間の情報交換や交流を行う。 ③ 上記の研究を行っている関係者で日本エネルギー学会に加入していない方々の学会への入会を促す。 ④ 年次大会での会員の研究発表を積極的に行うと共に、学会への加入を促しつつ非会員へも発表を勧誘する。	① 新エネルギーや水素関連技術のセミナー・見学会の開催。 ② 水素エネルギーに関する本の出版に向けた協議。 ③ 総説特集の企画。 ④ 年次大会(8 月)への積極的な研究発表ならびに参加者勧誘。 ⑤ 新エネルギー・水素エネルギー技術の開発や促進を行っている他団体との交流、特に世界水素エネルギー会議を積極的な交流の場として活用する。 ⑥ 2022 年度 100 周年記念事業として、水素に関する特集号、連載講座、カーボンニュートラルにつながる新エネルギー、及び水素に関連する講演会の実施。 ⑦ 部会ホームページの更新・拡充。 ⑧ メーリングリストによる情報発信。
ガス化部会	① シンポジウムを年 1 回開催し、リサイクル部会、バイオマス部会との合同とする。 ② 見学会、勉強会等を適時開催し、他部会および他学協会との連携も視野に入れる。	① 幹事会。 ② 三部会（RGB）シンポジウム（リサイクル部会、バイオマス部会と合同)（5 月） ③ 2022 年度 100 周年記念事業に向けた準備および実施。
燃焼部会	① 気候変動問題に対応する実践的な燃焼技術の調査を行ない、燃焼技術者を育成する。 ② 燃焼技術や環境技術に関連する講演会、エネルギー学会大会への発表を通して、社会への啓蒙や貢献を行う。 ③ 「日本エネルギー学会100周年記念事業」の準備および実施。	① 燃焼の基礎に関する講習会の開催（7 月頃、オンデマンド講習会)。 ② 大会でのセッションの企画。 ③ アンモニア燃焼に関する講演会を開催。 ④ 100 周年記念事業企画検討・策定および実施。

部会	活動方針	行事計画等
液体微粒化部会	① 会員へのフィードバックおよび部会委員参画のメリットに重点をおいた方向で部会活動を進める。 ② 会誌「えねるみくす」へ向けた微粒化関連記事の協力を行う。	① 第 17 回微粒化セミナー（開催時期未定、日本液体微粒化学会と共同主催）。 ② 第 31 回微粒化シンポジウム（12 月、日本液体微粒化学会と共同主催）。 ③ 部会委員会（年 3 回程度）。 100周年記念事業に合わせて、部会活動の振り返りや、今後の進展に関する記事等をえねるみくす等に掲載することを検討する。
リサイクル部会	① 部会企画行事により情報収集、情報交流の場を設ける。 ② 部会活動の成果をまとめ、社会に提言する。 ③ 循環型社会構築に資する活動を行う。 ④ 他の部会や学会との連携による活動を行う。	① 部会・幹事会の開催（年3回程度）。 ② 三部会（RGB）シンポジウム（100周年記念事業としてガス化部会・バイオマス部会と合同）（5月）。 ③ 部会主催講演会や見学会(廃棄物資源循環学会やプラスチックリサイクル化学研究会と共同開催予定)。 ④ 100周年記念事業（記念出版、シンポジウム開催（上記②）など）。
省エネルギー・消費者行動部会	① 省エネルギーセンター等との連携を強化し、下記活動方針に沿った活動を行う。 ② 環境と調和した新しいエネルギー需給構造、社会システムの構築に向けて検討を進める。 ③ 省エネルギー技術者、研究者の連携推進、省エネルギー技術シーズの「実用化」、「導入・普及」の促進への貢献を目指す。	① EECB公開セミナー（省エネ、消費者行動関連）や見学会の開催。 ② 「エネルギー学」部会及び他部会との連携講演会や見学会の開催。 ③ 年次大会における省エネルギー・消費者行動部会セッションの開催。 ④ 100周年記念事業に向けた企画の検討。 ⑤ 幹事会（年3回程度）。
「エネルギー学」部会	① シンポジウム（セミナー）の開催：他学会、他部会との共催も含めて、シンポジウム（セミナー）を開催していく。 ② エネルギー政策に関する意見交換を行う。 ③ エネルギー知識の啓蒙：エネルギー知識啓蒙のための単行本の出版を検討する。	① シンポジウム（セミナー）の開催。 ・学会 100 周年 「エネルギー学」 20 周年座談会を検討中。 ・「エネルギー移行期における石炭が担う役割と利用技術の可能性」セミナーの開催。 ・その他シンポジウム(セミナー)・見学会の開催を検討中。 ② 他部会、他学会とのセミナー・セッションの共催。 ③ 年次大会における「エネルギー学」セッションの開催。 ④ 第6次エネルギー基本計画：2050への提言”に関して、外部機関を含めて意見交換会を行う。100周年記念事業への提案を検討する。 ⑤ エネルギー・資源学会と共同でエネルギー検定の問題の改定を行う。エネルギー知識普及のための単行本の出版の検討。 ⑥ 幹事会(年 3 回程度)。

部会	活動方針	行事計画等
若手研究者の勉強会	① 産・学・官における若手研究者が意見交換できる場を提供し、懇親を深め、今後の研究・開発を合目的かつスムーズに進めていくための研究者間の人と知識の有機的なネットワークを構築していく。 ② 2050 年のエネルギー社会像をキーワードとして、各部会の若手（40 歳未満）の交流と意見交換を活発化するためワークショップを開催する。	① 勉強会の開催 （8 月年次大会期間中）。 ② 幹事会（年 1～2 回程度）。 ③ 100 周年記念事業に向けた企画の検討・実施。

（３）支部活動方針および行事計画等

支部	活動方針	行事計画等
北海道支部	① 北海道内の関連機関の実態を踏まえ、地域性を生かした「エネルギー・資源・環境」に関わる主催行事を開催する。 ① 北海道内の他の学協会等との有機的連携ならびに各種事業の共催・協賛を積極的に推し進め、支部会員への情報発信の強化を図る。	① 第 22 回北海道エネルギー資源環境研究発表会及び施設見学会（100 周年記念行事）（9 月開催：会場未定）。 ② 日本化学会北海道支部 2022 年夏季研究発表会（共催）。 ② 北海道エネルギー懇話会講演会（共催）。 ③ 第 11 回エネルギー・マテリアル融合領域シンポジウム（協賛）。 ④ 幹事会・総会（1 月：メール開催）。 ⑤ 庶務幹事会（奇数月）。
東北支部	① エネルギーに関わる講演会や研究会を企画開催する。 ② 東北・新潟地区における産学官の連携を促進する。 ③ 他の学協会との連携や共催を進める。	① 講演会および見学会の開催（10 月下旬～11 月中旬（予定））。 ② 100 周年記念講演会（検討中）。 ③ 他関連学協会との共催行事。 ・火力原子力発電技術協会東北支部 令和 4 年度技術講演会および見学会（協賛）。 ・学都 仙台・宮城サイエンスデイ（仙台市、名義後援）。 ・化学工学会東北支部 第 27 回東北ジョイント夏季セミナー（青森県、協賛）。 ・火力原子力発電技術協会東北支部 令和 4 年度技術講習会および見学会（協賛）。 ④ 役員会（5 月、11 月（予定））。

支部	活動方針	行事計画等
関西支部	① 石炭、重質油のみならずバイオマス等の新エネルギーも含めたセミナー等を通して横断的にエネルギーに関する情報と討論の場を提供する。 ② エネルギー源のみならず省エネルギーなどのエネルギーの有効な使用方法に関する情報の場を提供する。	① 見学会(7月)。 ② 「エネルギーの未来を担う若手のためのコロキウム2022」(石油学会関西支部共催)(8月)。 ③ 第38回セミナー・100周年記念事業(10月)(石油学会関西支部共催)。 ④ 第67回研究発表会(石油学会関西支部共催)(12月)。 ⑤ 幹事会(1月、4月、7月、10月)
西部支部	① 石炭、水素、バイオマスをキーワードとしたシンポジウム、セミナーを継続 ② 九州経済産業局殿と連携し、西部支部の地域性を生かしたセミナーの企画 ③ 地域の学生・若手の育成および研究活動の活性化のため、学生・若手研究発表会を実施 ④ 九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター殿等と連携し、海外への CCT 技術移転などを見据えた勉強会、セミナーを通じて知識の深化を図る。 ⑤ 地域のエネルギーをキーワードとした新たな取組み方針を検討 ⑥ 他学会(石油学会、機械工学会、化学工学会等)の関連支部との連携により学会活動を活性化	① 低炭素システム研究会(共催、6 月)。 ② 講演会および見学会の開催(6 月)。 ③ 支部企画研究発表会の開催(11 月)。 ④ 他学会関連支部行事の協賛。 ⑤ 役員会(6 月、8 月、11 月)。 ⑥ 100 周年記念事業に向けた準備と実施。

収支予算書

2022年 1月 1日から2022年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(A)　(B)　(A－B)（単位：円）

科　目	予算額	前年度予算額	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[31,747,200]	[31,820,000]	[△ 72,800]
維持会員受取会費	21,500,000	21,800,000	△ 300,000
賛助会員受取会費	1,860,000	1,820,000	40,000
正会員受取会費	8,387,200	8,200,000	187,200
事業収益	[14,370,000]	[21,190,000]	[△ 6,820,000]
講演講習会収益	6,000,000	14,000,000	△ 8,000,000
分析収益	400,000	200,000	200,000
安息香酸収益	3,300,000	2,500,000	800,000
調査研究収益	1,100,000	1,100,000	0
会誌別刷売上	300,000	300,000	0
広告収益	270,000	180,000	90,000
書籍収益	400,000	410,000	△ 10,000
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,200,000	1,100,000	100,000
雑収益	[130,000]	[125,000]	[5,000]
受取利息	2,000	2,000	0
雑収益	128,000	123,000	5,000
経常収益計	46,247,200	53,135,000	△ 6,887,800
(2) 経常費用			
事業費	[23,343,000]	[25,022,000]	[△ 1,679,000]
講演講習会運営費	880,000	7,200,000	△ 6,320,000
旅費交通費	300,000	1,250,000	△ 950,000
通信運搬費	735,000	695,000	40,000
消耗品費	10,000	7,000	3,000
印刷製本費	8,730,000	8,430,000	300,000
支部費	1,400,000	1,400,000	0
会議費	50,000	100,000	△ 50,000
諸謝金	1,600,000	1,900,000	△ 300,000
分析費	300,000	150,000	150,000
安息香酸費	2,640,000	2,000,000	640,000
雑費	1,600,000	1,800,000	△ 200,000
出入金手数料	98,000	90,000	8,000
100周年記念事業費	5,000,000	0	5,000,000
管理費	[27,757,000]	[27,937,000]	[△ 180,000]
給料手当	13,400,000	13,000,000	400,000
社会保険料	1,600,000	1,600,000	0
退職給付費用	450,000	450,000	0
労働保険料	250,000	250,000	0
福利厚生費	50,000	50,000	0
会議費	600,000	730,000	△ 130,000
旅費交通費	1,200,000	1,200,000	0
通信運搬費	1,500,000	1,500,000	0
消耗品費	100,000	200,000	△ 100,000
印刷製本費	500,000	750,000	△ 250,000
光熱水料費	300,000	350,000	△ 50,000
借室費	4,600,000	4,600,000	0
保険料	7,000	7,000	0
諸謝金	50,000	50,000	0

科　　目	(A) 予算額	(B) 前年度予算額	(A－B) 増　減
租税公課	650,000	700,000	△ 50,000
雑費	2,500,000	2,500,000	0
出入金手数料	[100,000]	[150,000]	[△ 50,000]
経常費用計	51,200,000	53,109,000	△ 1,909,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,952,800	26,000	△ 4,978,800
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,952,800	26,000	△ 4,978,800
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,952,800	26,000	△ 4,978,800
一般正味財産期首残高	62,632,587	60,592,453	2,040,134
一般正味財産期末残高	57,679,787	60,618,453	△ 2,938,666
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	57,679,787	60,618,453	△ 2,938,666